

ガマ科 ガマ属

ヒメガマ (姫蒲)

Typha domingensis Pers.

自生環境

水辺、湖沼 など

原産地

日本在来

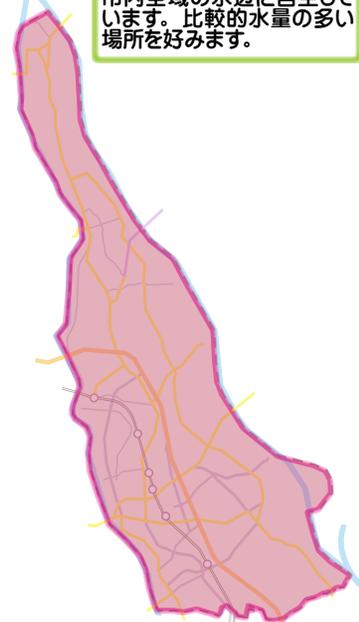
生育を脅かす要因



市内全域にごく普通で、今のところ絶滅の心配はありません。ただ生育にはそこそこの水量が必要で、湿地や沼の埋め立てなどの影響を受けやすい可能性があります。

市内の分布状況

市内全域の水辺に自生しています。比較的水量の多い場所を好みます。

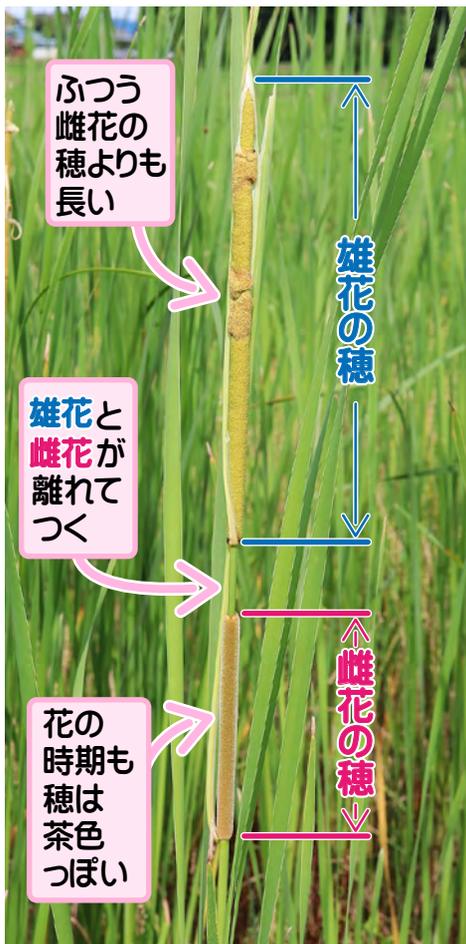


特徴

- ☆ 川岸や沼のほりなどに生え、地下茎で横にどんどん広がりながら群生する多年草です。そこそこ水の深い場所でも生育可能であるため、大きな湖の岸边にも多く見られます。日本のヒメガマは変異が多く、いくつかの種類に分けられる可能性があるとする見解もあります。
- ☆ 花期は6～8月頃です。上側に雄花の穂が、下側に雌花の穂がつきます。雄花の穂と雌花の穂の間は離れています。雄花の穂は黄色い花粉を大量に飛ばします。雌花には茶色い小苞片があるため、雌花の穂は花期も茶色がかった色をしています。
- ☆ 果実期になると、赤茶色のソーセージのような穂が目立ちます。穂は大量の綿毛つきのタネがきゅうきゅうに詰まった状態になっています。穂は成熟すると簡単にほぐれ、綿毛つきのタネが風とともに飛び立っていきます。

水の深いところを好む

市内に自生するガマの仲間 (在来種) は、ガマ、コガマ、ヒメガマの3種類です。このうちコガマは、湿地のような環境を好みます。一方のガマとヒメガマはそこそこ水深のある池や沼、水路べりで、水につかりながら生えている姿をよく見かけます。特にヒメガマは、水の深い場所まで適応可能です。そのため、大きな湖のほりで大群落をつくっている姿をよく見かけます。



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

